

2026.1.24 第18回つくば3Eフォーラム会議

コンパクトシティ戦略による 持続可能な付加価値創造都市の実現



富山市企画管理部
企画調整課

TOYAMA CITY

富山市の概要

■2025年4月1日、2005年の旧7市町村の合併による「新富山市」の誕生から、20周年という節目の年を迎えた。



■ 日本



■ 富山県

- ・人口: 402, 337 人 (2025年3月31日)
- ・面積: 1, 241. 70 km²
- ・特徴: 海拔0m (富山湾) から標高2, 986m (水晶岳) まで多様な地形を有する
- ・産業: 医薬品、電子部品、機械関連産業等の製造業を中心としたものづくり産業が集積



ニューヨーク・タイムズ「2025年に行くべき52か所」に選定

2025年1月7日に、富山市がニューヨーク・タイムズ紙が発表した、世界の「2025年に行くべき52か所」に選定され、国内外からの注目が高まっている。

「混雑を回避しながら文化的な感動とグルメを味わえる」



【富山市ガラス美術館】



【おわら風の盆】



【松川沿いの桜】
【とやまのすし】

1 富山市のコンパクトなまちづくり



TOYAMA CITY

コンパクトなまちづくり

富山市を取り巻く課題

① 人口減少と超高齢社会

⑤ CO2排出量の増大

② 過度な自動車依存による
公共交通の衰退

⑥ 市町村合併による
類似公共施設

③ 中心市街地の魅力喪失

⑦ 社会資本の
適切な維持管理

④ 割高な都市管理の
行政コスト

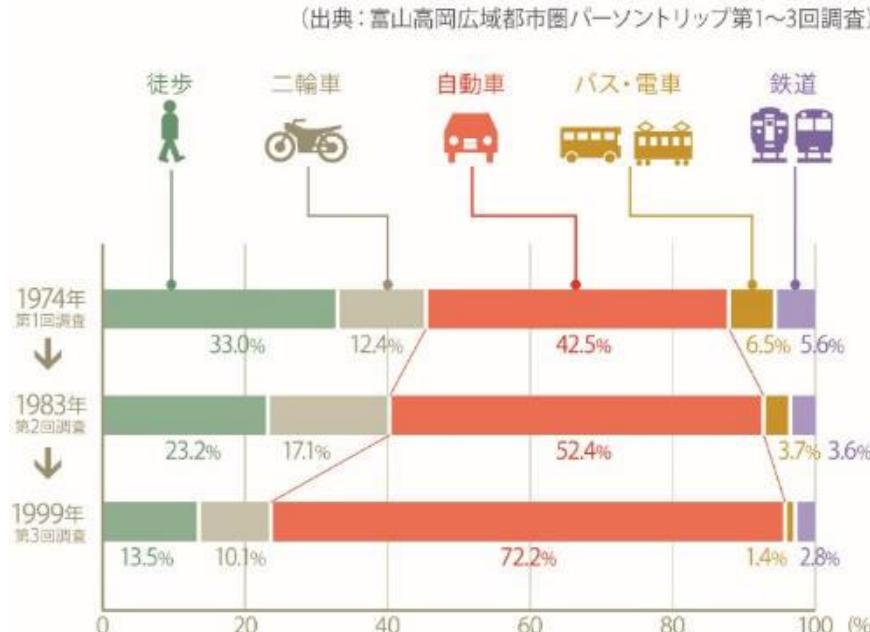
⑧ 平均寿命と健康寿命の
乖離

都市に与えた影響

～過度に自動車に依存した生活～

■高い自動車分担率と交通弱者の存在

交通手段分担率（全目的分担率）



車を自由に使えない人の実態

(出典：平成18年富山市の公共交通に関する意識調査)

自由に使える車がない



29.5%

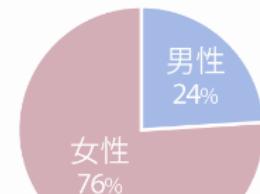
自由に使える車がある



70.5%

自由に使える車がない人の属性

男女別



80代 18.3%

70代 31.1%

年代別

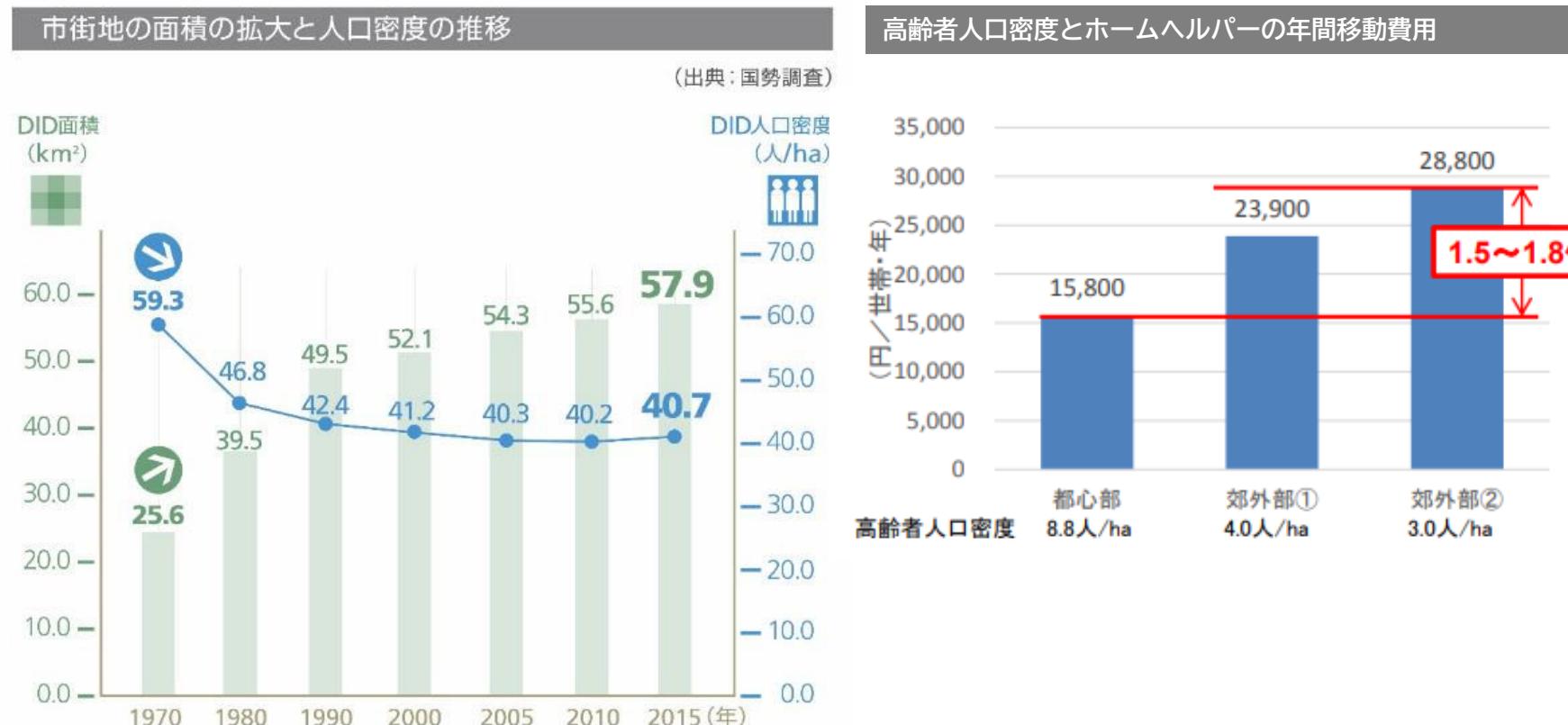


※「自由に使える車がない人」とは、運転免許証がない人、自分専用の車がない人を指す。

「車を自由に使えない人」にとって**極めて生活しづらい街**が出来上がつていった

都市に与えた影響 ~市街地拡大への要求~

■戸建志向や自動車保有の高さを背景とした市街地の拡大



行政管理や民間サービス提供コストの増加と県都の顔である中心市街地の衰退

なぜ「コンパクトシティ」は必要だったのか？

「車に依存した暮らしとまちの拡大」による課題は、
「人口減少と超高齢化」によりさらに深刻化していく。



<2002年頃の市長の問題意識>

「多くの地方都市と同じく、車での生活に特化し、
居住地密度が薄っぺらで、車がないと自由に移動
できないまちでは、30年後に生き残れない。」



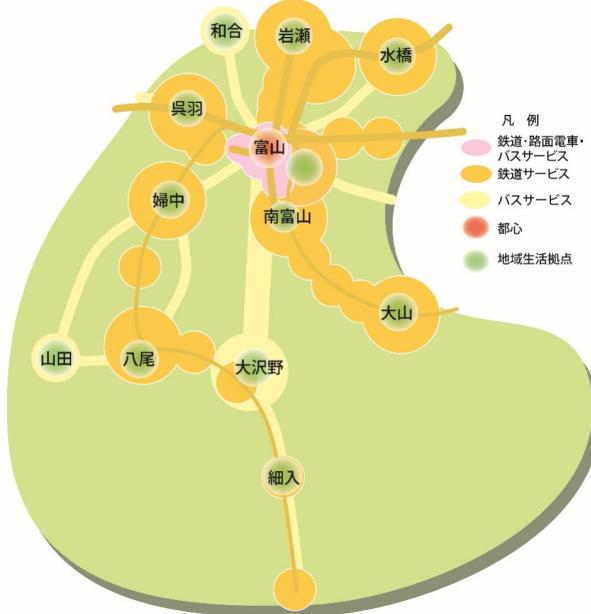
都市のかたちの大膽な変革が必要。

コンパクトなまちづくり

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

<概念図>

お団子と串の都市構造



串 :一定水準以上のサービス
レベルの公共交通
お団子:串で結ばれた徒歩圏

公共交通の活性化



- 富山ライトレール
- 市内電車環状線化
- 路面電車南北接続
- JR高山本線・地鉄不二越・上滝線活性化
- おでかけ定期券 など

公共交通沿線地区への居住推進



- 都心地区・公共交通沿線地区での住宅供給や新築・購入を支援
- 公共交通指向型開発
(改札新設、民間連携開発)

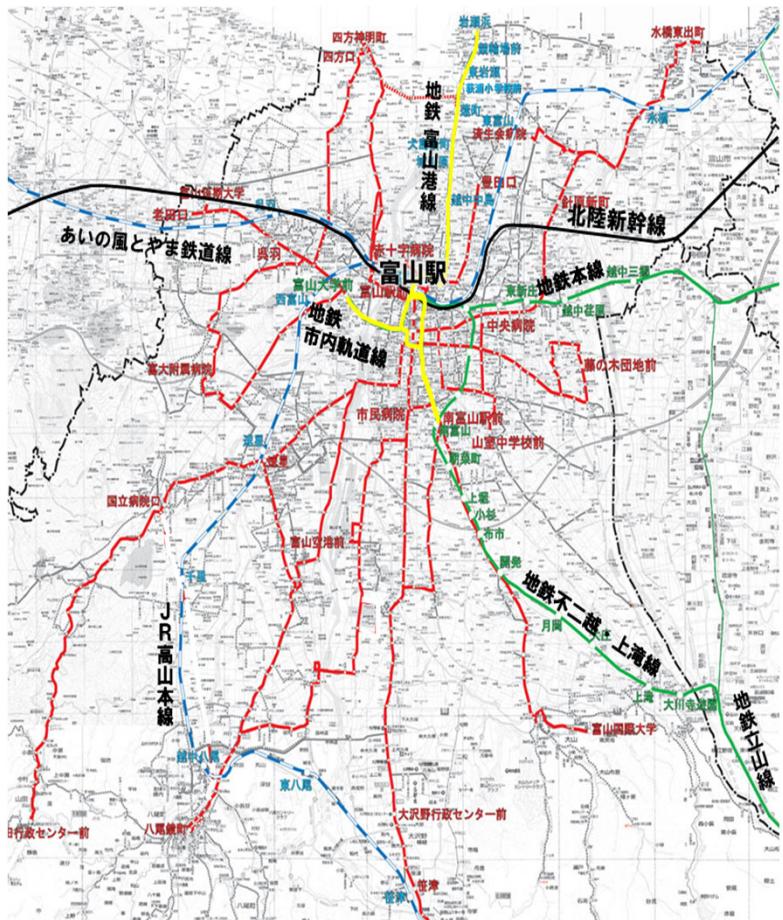
中心市街地の活性化



- グランドプラザ
- TOYAMAキラリ
- トランジットモール
社会実験

コンパクトなまちづくり

①公共交通の活性化



※富山市の公共交通網は富山駅を中心に放射状のネットワークを形成

主な公共交通活性化事業



富山ライトレールの整備 (H18.4開業)



市内電車環状線化 (H21.12開業)



新幹線高架下への市内電車乗り入れ
(H27.3開業)



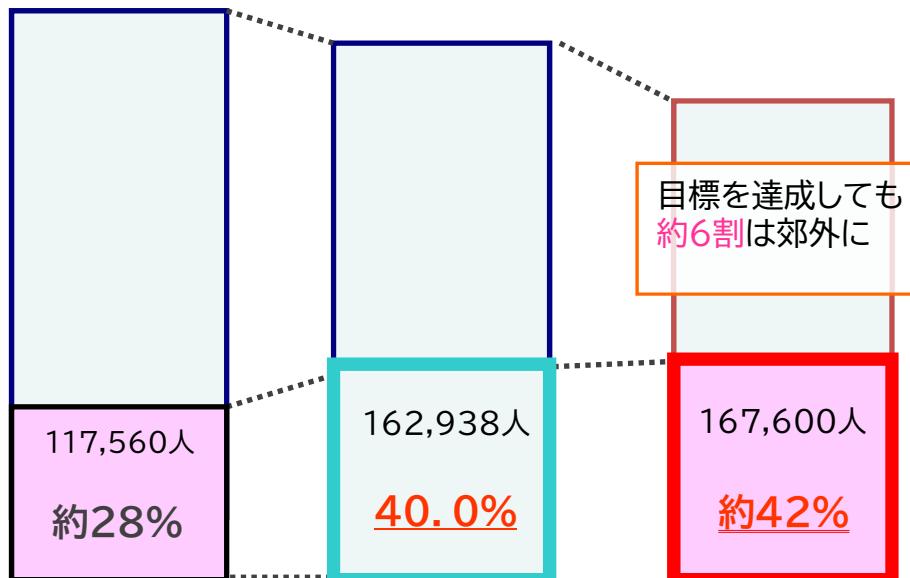
在来線高架下への市内電車乗り入れ
(R2.3開業)

コンパクトなまちづくり

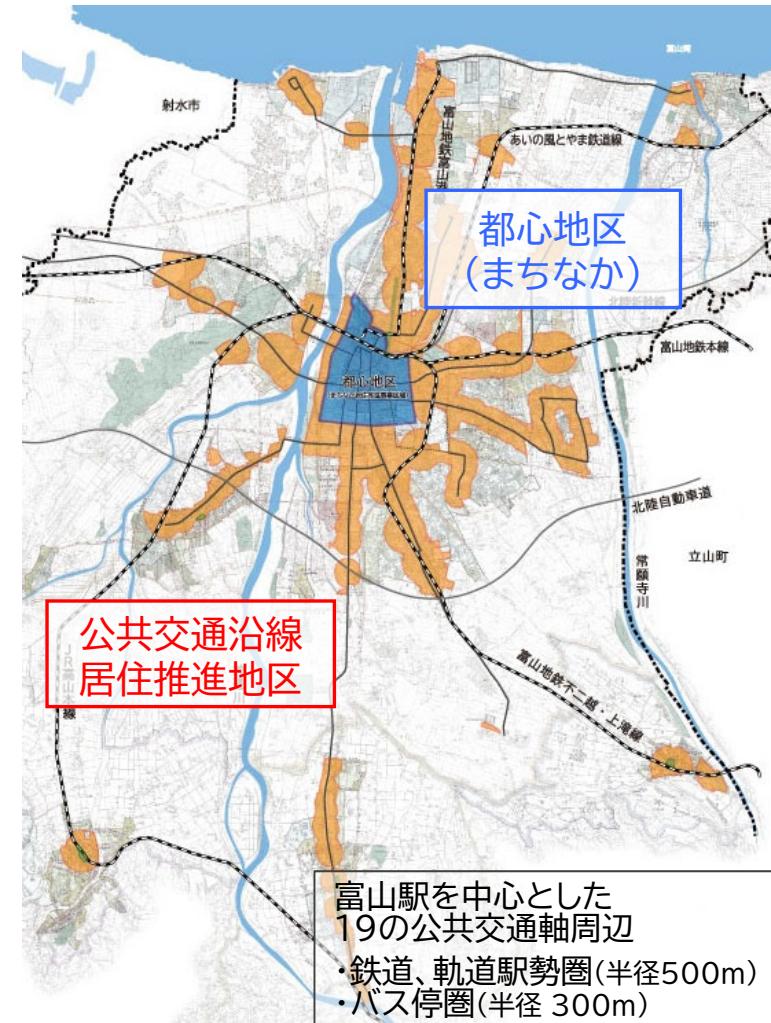
②公共交通沿線地区への居住推進

便利な公共交通沿線における居住人口の目標

2005年
(421,239人) 2023年
(407,365人) 2025年推計
(397,000人)

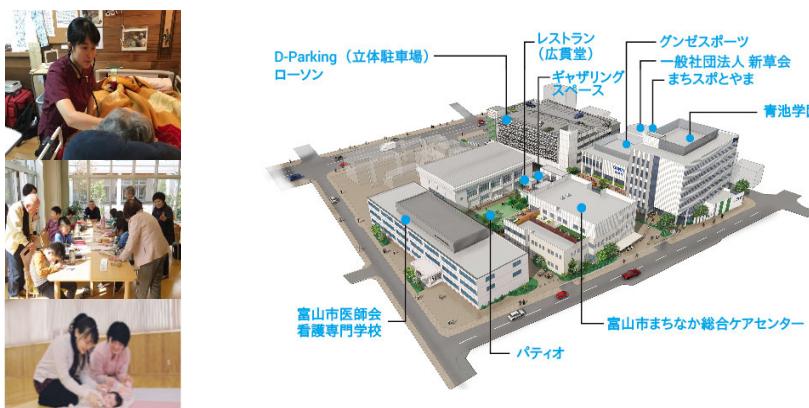


都心地区および公共交通沿線居住推進地区の人口比率の推移



コンパクトなまちづくり

③中心市街地の活性化(西町・総曲輪周辺)



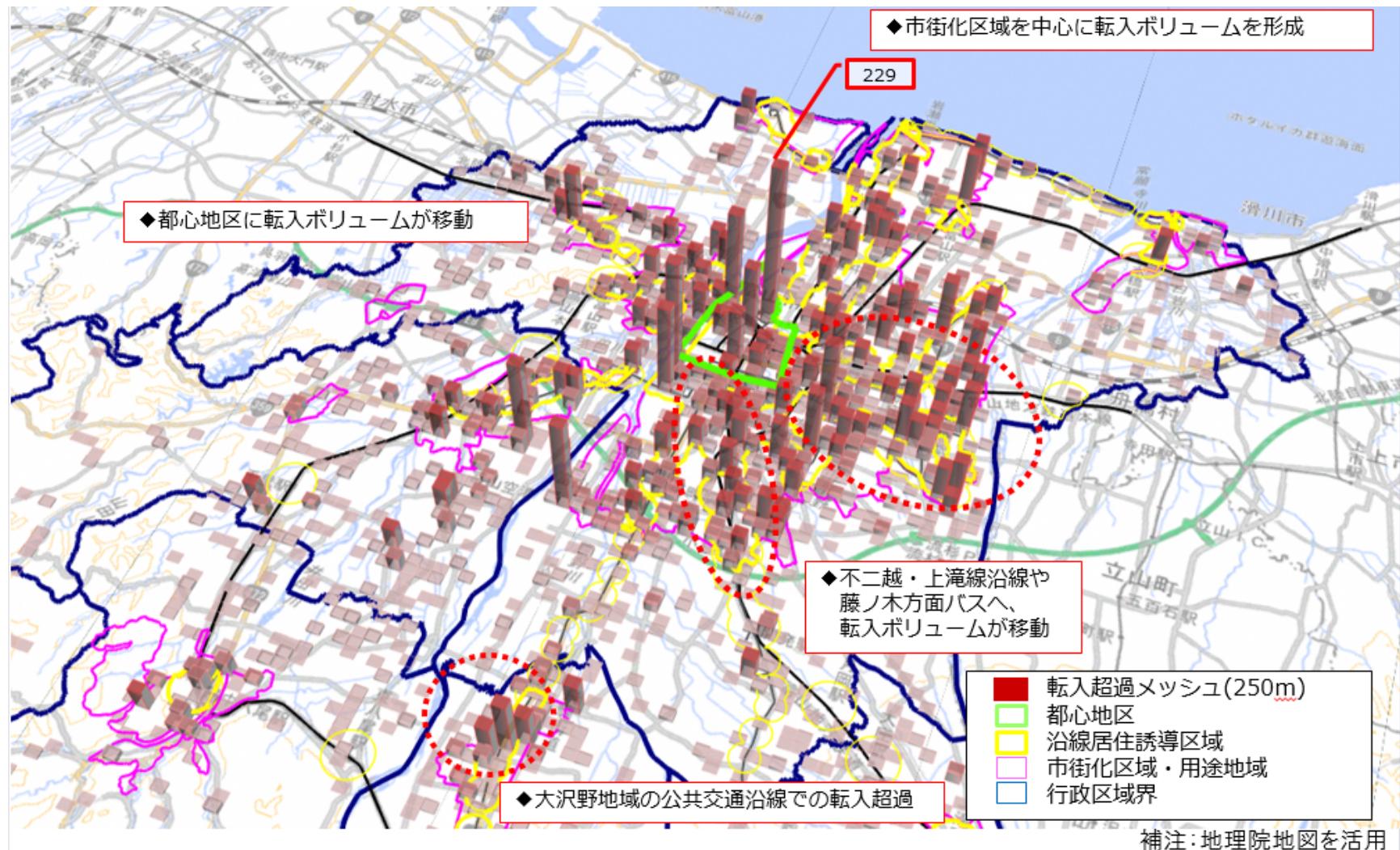
富山駅の変化 ~利便性の高いターミナル駅~

高齢者や来街者など誰もが快適に利用できる交通ターミナル



コンパクトなまちづくりの成果

転入超過(人口の社会増)による人口減少の鈍化



2 SDGs未来都市の取組み (スマートシティの推進等)



TOYAMA CITY

「SDGs未来都市」ビジョン

本市は、2018年6月15日に経済・社会・環境の分野をめぐる広範な課題に統合的に取組む地方自治体として、全国初の「SDGs未来都市」に国(内閣府)から選定される。

「コンパクトなまちづくり」や「環境未来都市」等の取組を**SDGsの視点から発展**

「コンパクトシティ」×「スマートシティ」=「SDGs未来都市」の実現



富山市版スマートシティ

コンパクトシティ政策 + スマートシティ政策

手段

デジタル技術・データの利活用

市民・地域の課題を解決

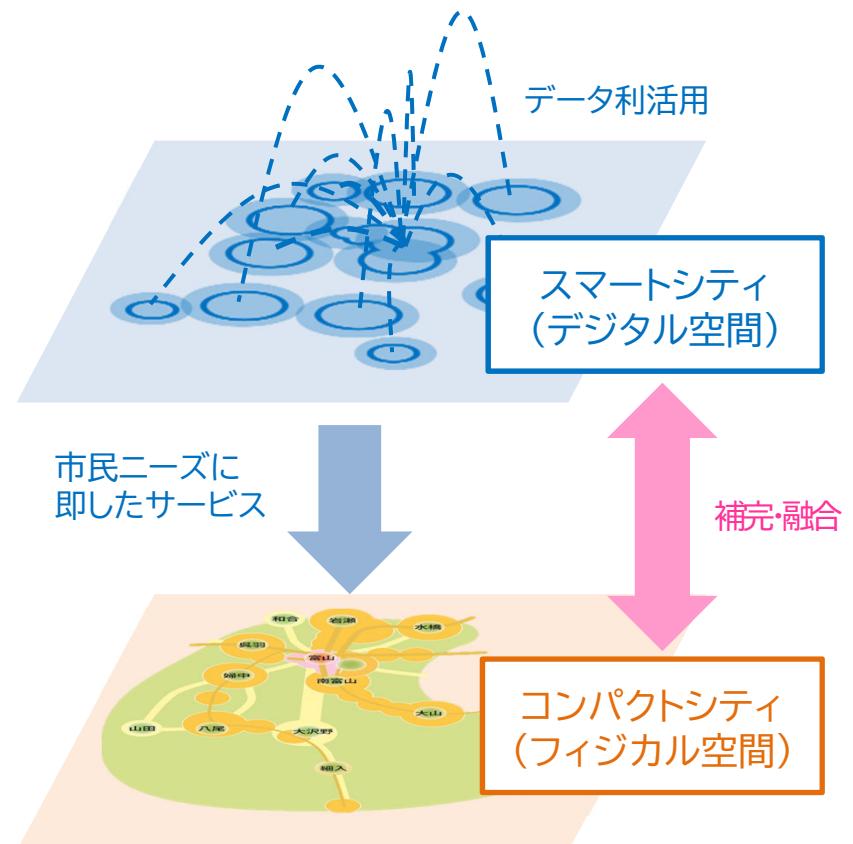
市民ニーズに即した官民のサービスの創出

目的

コンパクトシティ政策の“深化”

市民生活の質・利便性の向上

地域特性に応じた市内全域の均衡ある発展

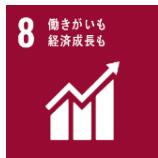


公共交通へのデジタル技術導入

市営コミュニティバス大庄循環線のエリアにおいて、AIオンデマンド交通システムを導入



スマートフォンアプリ「とほ活」 ～R1.11.1リリース～



- 歩く行動に対する楽しみやインセンティブを提供するスマホアプリを開発
- 市民の行動変化を起こすきっかけづくりを支援



まちづくりに寄与する
一連の歩く行動

①歩数でポイント

スマートフォンアプリと連動し、毎日の歩数を計測。
歩数に応じてポイントを取得できます。
◆1,000歩 → 8pt (1日上限:80pt)



歩数計機能

②公共交通利用でポイント

駅改札や市内電車、バス車両内に設置されたビーコンからの電波を検知して、ポイントを取得できます。
◆1回/日 → 5pt (週1回利用ボーナス:50pt)



③イベント参加でポイント

まちなかでの催しやウォーキングイベントなどの会場に設置されたQRコードを読み込んで、ポイント取得。
◆イベント会場ごとに1回/日 → 最大100pt

(新機能) 健康管理でポイント

毎日の体重・体脂肪率・健康診断の記録をすることで
ポイントを取得できます。
◆体重・体脂肪率1回/日→5pt 健康診断記録1回/年→200pt

<参考>令和7年2月抽選



貯めたポイントを使って商品への抽選応募が可能。
賞品は市内リゾート施設の宿泊券や健康関連製品、
地元百貨店の商品券、地場産品、スポーツ観戦券など。

スマート農業実証事業

◆大沢野塩地区等でのエゴマ栽培を対象としたスマート農業実証事業



【画像1】2台のトラクタによる協調作業



【画像2】ドローンによる生育診断とGPS自動操舵システムによる直進アシスト



【画像3】遠隔監視システム(①農場のリアルタイム画像や②環境データ(温湿度、日照など)の取得)

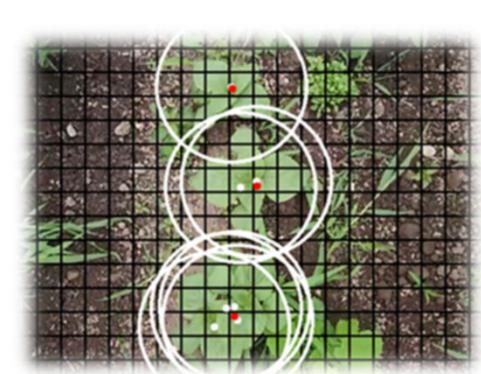


19

【画像4】自走式草刈り機



【画像5-1】開発中の株間除草ロボット



【画像5-2】AIカメラによるエゴマと雑草を判別する画像処理技術等の実証

電子回覧板導入支援事業



町内会等が電子回覧板を導入された場合、導入初期費用を補助。
令和5年度から対象団体を拡充して実施。

※補助実績:57団体(R3:2団体、R4:10団体、R5:31団体、R6:14団体)



The interface features a navigation bar at the top with tabs: 最新情報 (Latest Information), メニュー (Menu) (highlighted in red), 富山市的情報 (Information about Toyama City), 医療介護 (Medical Care), and 地域の店 (Local Businesses). Below the menu are several icons representing different categories:

- 町内行事 (Community Events) with a calendar icon
- 連絡事項 (Communication Items) with a document icon
- 防災情報 (Disaster Prevention Information) with a megaphone icon
- こども会 (Children's Association) with a child icon
- ゴミの日 (Garbage Day) with a trash bin icon
- お役立ち情報 (Useful Information) with a ear icon
- 書庫 (Library) with a bookshelf icon
- 町内写真館 (Local Photo Gallery) with a camera icon
- 総会関連 (General Assembly Related) with a group of people icon
- 役員会 (Executive Committee) with a people icon
- 広報配布物 (Publicity Distribution Items) with a book icon
- 問い合わせ (Inquiry) with a Q&A icon

最新情報	メニュー	地区の情報	お店	
運営事項	広報とやま7月20日号			
		2021/07/16 17:16		
こども会	ラジオ体操 中止			
		2021/07/05 08:05		
町内行事	海岸清掃活動の中止について			
		2021/07/04 05:18		
運営事項	用水路の事故に注意！			未読
		2021/07/02 13:16		
防災	洪水ハザードマップ			未読
		2021/07/01 09:04		
町内行事	富山川沿い草刈の件			未読
		2021/06/17 20:21	END	
	不審者情報			

SDGs自動販売機の設置

<全国自治体初>



「フードロス削減」に向けて、**SDGs自動販売機(市役所1階)**を設置
(令和3年1月29日 北陸コカ・コーラボトリングと本市が連携協定を締結)

賞味期限が近い余剰在庫の製品を並べ、割安な価格(1本70円~100円)で販売
→官民が連携した**持続可能な資源循環モデル**として市民へ発信

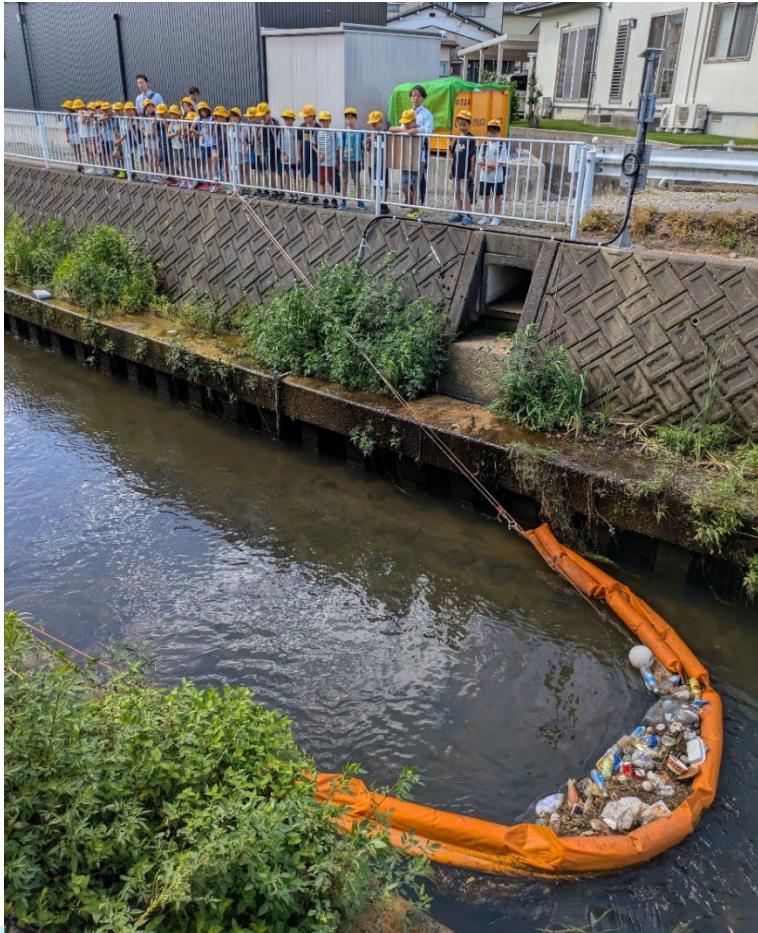


海洋プラスチックごみ対策(陸域からのごみ流出抑制対策)



富山市を流れる用水に「オイルフェンス」を設置し、プラスチックごみ等を回収・分析。海洋ごみ問題の啓発拠点としても活用。

※富山湾の海岸漂着ごみの約8割は、**陸域からの流出**とされる。



一度の回収作業で集まったごみ(R6年8月)

TOYAMA CITY

「コンパクトシティ×スマートシティ」を起点としたSDGsの相互連関



3 SDGsの普及・展開

SDGs ウィーク・フォーラム(市民啓発)

○令和元年度からSDGsイベントを集中的に開催する「SDGs ウィーク」を実施。

【令和6年度のSDGs ウィーク】

期 間: R7.2.8(土)~2.17(月)までの全10日間

事業数: 全24事業(市主催17事業、SDGs サポーター企業主催7事業)

内 容: 「健康」「教育」「農業」「防災」「まちづくり」など、様々な分野のイベントを開催。

○「SDGs ウィーク」のメインイベントとして、「SDGs 推進フォーラム」を開催

・昨年度のフォーラムでは、ミニ講演やSDGs取組紹介のほか、**伊沢拓司さん(クイズプレーヤー)**をゲストに招き、藤井富山市長とトークを繰り広げた。



伊沢拓司さんと藤井市長によるクロストーク



堀川小学校児童によるSDGs取組紹介

富山市版SDGs学習ゲームの制作

子どもも大人も楽しみながらSDGsを学ぶことができる市販の学習ゲーム「Get The Point」を富山市版(ご当地版)にアレンジ(R7.2月完成)



五福小学校や富山南高校での体験会、大学生・企業等が参加するワークショップを開催

富山市の特色(まちづくり・特産品・芸術文化)や抱える課題などをゲームの要素に反映



五福小学校での体験会

アオハルライドパス ~「のりもの語り教育」の実践~

「のりもの語り教育」で学んだ公共交通の「大切さ」「便利さ」「まちづくりとの関係」を、行動範囲が広がる「中学生」になったタイミングで「まち」に出て実感！

期待する効果：公共交通が生活の一部に！
自分の住む「まち」の魅力を発見！

⇒ 公共交通の利用促進
⇒ シビックプライドの醸成

<のりもの語り教育>

小学校での授業

- ・公共交通の役割や必要性
- ・公共交通を活用したまちづくり



校外学習(体験)

- ・公共交通機関の見学
- ・公共交通への乗車体験



アオハルライドパス

交通ICカード
(1万円分)

卒業
小学6年生に配布

<アオハルライドパス>

公共交通利用の実践

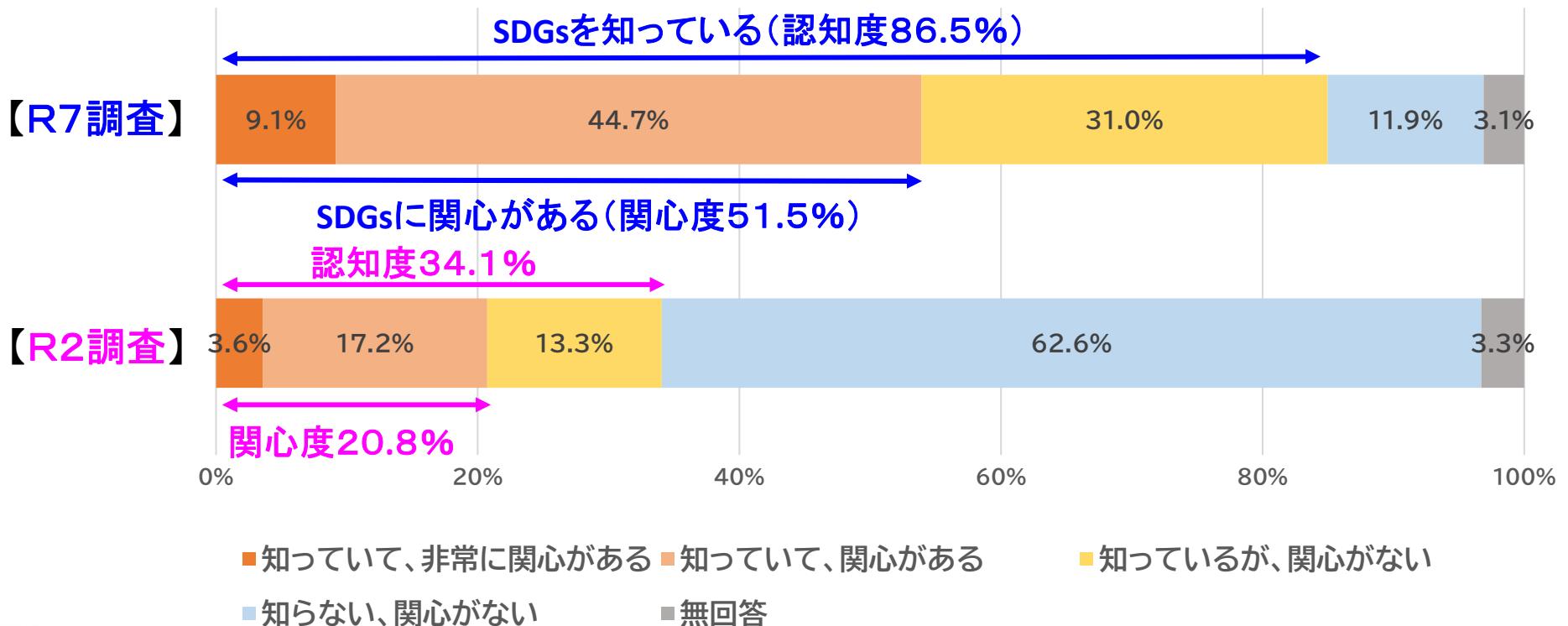
- ・様々な生活シーンで
いろいろな場所へおでかけ



富山市のSDGs認知度

令和7年5～6月に実施した富山市民意識調査結果によると、富山市民のSDGs認知度を示す「SDGsを知っている」割合は約87%となり、R2調査時の約34%から大幅に増加した。

また、R2調査時に約21%であった、SDGsの関心度を示す「SDGsに関心がある」市民の割合も、約52%まで増加した。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



都市の理想を、富山から。



SDGs 未来都市
TOYAMA

ご清聴ありがとうございました

TOYAMA CITY